

馬 埋蔵文化財最新発掘調査情報 馬

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設など大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

えのきど・すわはらいせき 榎戸・諏訪原遺跡第10地点

調査地：朝霞市岡一丁目地内

期間：令和3年9月28日～11月9日

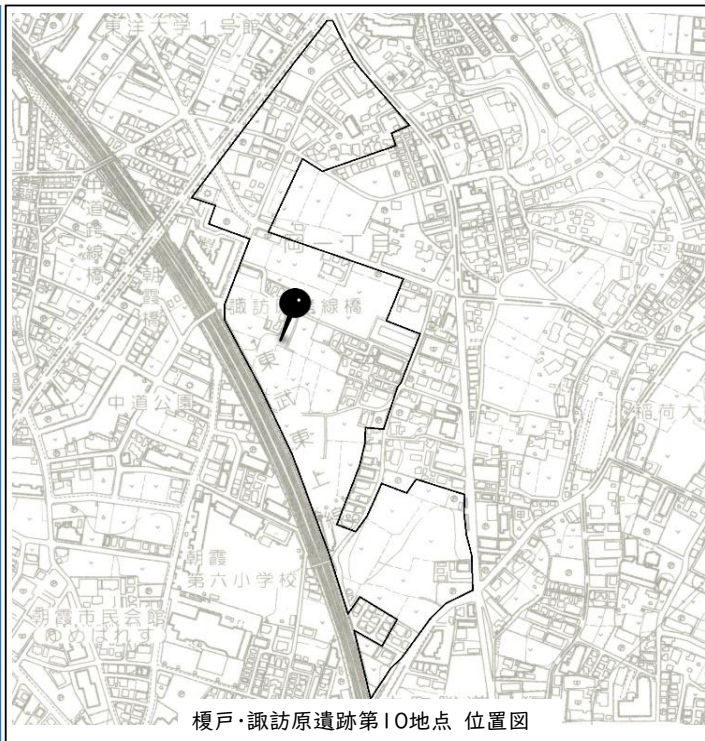
調査面積：223.11㎡

◆今回の調査では、竪穴住居跡、溝跡、土坑、ピットが確認されました。

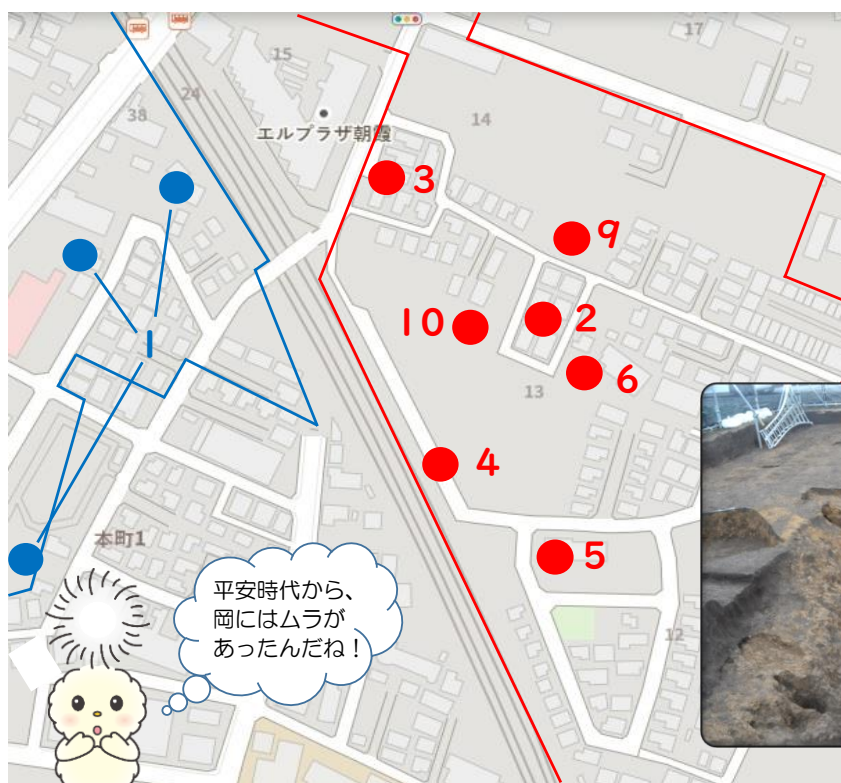
遺物は、縄文土器、土師器、須恵器、陶器、鉄製品、石製品、土製品、獣歯が出土しました。

住居跡は3軒確認され、出土遺物からいずれも平安時代の住居跡で、周囲の発掘調査の結果から広範囲にわたって集落が広がっていることが判明しました。また、検出したうちの1軒は、焼失住居であり、住居内に炭化した木材が放射状に残存しているなど、当時の住居を復元する上で貴重な資料となりました。

溝跡は、住居跡を壊して掘られていたことから、平安時代以降に掘られたことが分かります。第6地点でも、連続する溝跡が確認されており、また溝跡が埋まっていく過程で、硬化している層が確認されたことから、道路としても使用されていた可能性が考えられます。さらに、硬化した層の上から獣歯（馬または牛）が3箇所にわたり出土（第6地点でも同様の状況を確認）していることから、何かしらの儀礼が行われていたことが推測されます。



榎戸・諏訪原遺跡第10地点 位置図



検出された住居跡(焼失住居)



溝跡から出土した獣歯